

2025 年 9 月 4 日

## 報道関係者 各位

2026（令和 8）年 4 月

## 大学院機能強化へ 新たに 3 つの博士課程設置

## ～ 情報学研究科、パブリックヘルス学環、医理工レギュラトリーサイエンス学環 ～

群馬大学では、大学院の機能強化を目的とした再編を進めており、2024（令和 6）年度に情報学研究科、パブリックヘルス学環及び医理工レギュラトリーサイエンス学環を新設しました。2026（令和 8）年度から、これらの 3 組織に新たに「博士課程」を設置することについて、文部科学省に設置計画書等を提出し、大学設置・学校法人審議会による審査を受けておりましたが、このたび正式に設置が認められましたので、お知らせいたします。

情報学研究科は、2025（令和 7）年 8 月 29 日付けで、文部科学省から設置を可とする通知がありました。パブリックヘルス学環及び医理工レギュラトリーサイエンス学環は、2025（令和 7）年 7 月 23 日付けで文部科学省に設置報告書が受理され、設置手続きが完了しています。

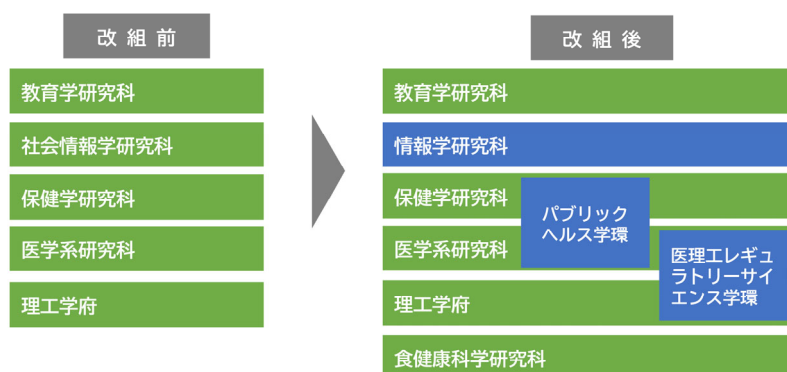
## 〈 新たに設置する博士課程（博士後期課程※1）の概要 〉

| 研究科等の名称 | 情報学研究科          | パブリックヘルス学環 ※ 2      | 医理工レギュラトリーサイエンス学環 ※ 2 |
|---------|-----------------|---------------------|-----------------------|
| 学位の名称   | 博士（情報学）         | 博士（社会健康医学）          | 博士（医理工学）              |
| 特色      | 情報科学と人文・社会科学の融合 | 保健学と医科学を基盤とした社会健康医学 | 理工学と医科学を基盤とした重粒子線理工学  |
| 入学定員    | 4 名             | 2 名                 | 2 名                   |
| 標準修業年限  | 3 年（長期履修制度あり）   |                     |                       |

※1 博士課程の設置に伴い、区分制博士課程となり、現行の修士課程は博士前期課程に変更となる。

※2 学環とは、大学院設置基準第 30 条の 2 に規定する「研究科等連携課程実施基本組織」に基づく組織。複数の研究科が協力して教育課程を編成し、教員や設備等の大学全体の資源を最大限に活用して研究科横断的な教育を提供するもの。

## 群馬大学の大学院改革（全体像）



## 【学長コメント】

群馬大学では、大学院の組織再編を通じて、デジタル分野を牽引する高度専門人材の育成を強化しています。予測困難な時代に対応するため、分野を横断した専門知識と能力を持つ高度専門職業人の育成に取り組んでいます。

今回設置が認められた博士課程はいずれも、複数の専門分野を横断・融合した学問領域をより高度化した内容で学び、複雑化する社会の中で、新たな切り口で課題解決を先導する人材を育成することを目的としています。学術分野だけではなく実社会でも活躍する高度専門職業人としての博士人材を養成し、知の拠点として地域の人材育成や地域社会を支える基盤となると同時に、グローバルな視点で活躍できる大学を目指しています。

群馬大学長 石崎 泰樹

## 【研究科長・学環長コメント】

### ■情報学研究科長 伊藤 賢一

情報学研究科は、これからの高度情報社会を支えていく人材を育成するために 2024（令和 6）年度に開設されました。2026（令和 8）年度には、より高度な知のプロフェッショナルを育成するために、博士後期課程を新たに設置します。この博士後期課程では、複雑化する現代社会や地域からの要求に応えるために、情報科学から人文科学・社会科学にまでわたる広い分野に関して先端的な知を探究できる文理融合型のプログラムを開設し、幅広い学びと研究の機会を提供します。

私たちは、学術分野だけでなく、産業界や地域社会での政策立案、国際的なプロジェクトなど、さまざまな場で活躍できる人材の育成を目指しています。未知の課題に挑む意欲を持った皆さんの挑戦をお待ちしています。

### ■パブリックヘルス学環長 大山 良雄

このたびパブリックヘルス学環に博士後期課程を新設いたします。私たちは、感染症や生活習慣病、少子高齢化など、地域や社会が直面する健康課題に取り組み、人々の暮らしをより健やかにすることを目指しています。博士後期課程では、データを活用した科学的根拠に基づく研究を進め、行政や医療機関、企業など幅広い分野でリーダーシップを発揮できる人材を育成します。

地域や社会からの期待に応え、課題解決に貢献できる学環として、多様な専門分野の研究者や地域の皆さまと連携し、新しい知の創造を通じて持続可能で安心できる社会づくりに寄与してまいります。

### ■医理エレギュトリーサイエンス学環長 花泉 修

2026（令和 8）年度に医理エレギュトリーサイエンス学環に博士後期課程を新たに設置いたします。本学環は、生命医科学、医学・医療及び理工学における学際的学問領域の知見を融合し、医療技術の安全性・有効性を科学的に評価し、社会実装を推進できる高度専門人材の育成を目的としています。

カリキュラムは実践的な研究指導に加え、レギュトリーサイエンス、倫理、産業連携など多角的な視点を重視し、地域医療や医療機器開発の現場と密接に連携することで、社会的課題の解決に資する教育・研究を展開します。

群馬県をはじめとする地域社会のニーズに応え、医療の未来を支える人材を育てることは、大学の重要な使命です。本学環が、地域と世界をつなぐ知の拠点として発展し、持続可能な社会の構築に貢献するべく、教職員一同、尽力してまいります。

### 〈 2026（令和 8）年 4 月入学試験に関する情報 〉 ※3

|       | 情報学研究科   | パブリックヘルス学環                      | 医理エレギュラトリーサイエンス学環                                                           |
|-------|----------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 募集受付  | 10 月中旬予定 | 11 月 7 日 (金)<br>～ 11 月 13 日 (木) | 11 月 7 日 (金)<br>～ 11 月 13 日 (木)                                             |
| 試験日   | 12 月上旬予定 | 外国語、口頭試問：<br>12 月 7 日 (日)       | 外国語：<br>12 月 7 日 (日)<br>口頭試問：<br>12 月 4 日 (木)<br>～12 月 10 日 (水)<br>のうち指定する日 |
| 合格発表日 | 12 月下旬予定 | 12 月 26 日 (金)                   | 12 月 26 日 (金)                                                               |

※3 日程は全て 2025（令和 7）年、**現時点の予定**であり、変更となる可能性があります。

後日、各研究科等のホームページに募集要項を掲載しますので、詳細は必ず募集要項にてご確認ください。

### 〈 参 考 資 料 〉

- 教育研究組織再編の歩み
- 教育研究組織改革年表
- 情報学研究科（概要）
- パブリックヘルス学環（概要）
- 医理エレギュラトリーサイエンス学環（概要）

### 〈 ホームページ 〉

- 全学ホームページ  
<https://www.gunma-u.ac.jp/graduate/>
- 情報学研究科  
[https://www.inf.gunma-u.ac.jp/graduate/hakase\\_katei/](https://www.inf.gunma-u.ac.jp/graduate/hakase_katei/)
- パブリックヘルス学環  
<https://www.ph.gunma-u.ac.jp/>
- 医理エレギュラトリーサイエンス学環  
<https://www.rs.gunma-u.ac.jp/>

※各研究科等のホームページは順次更新予定です。

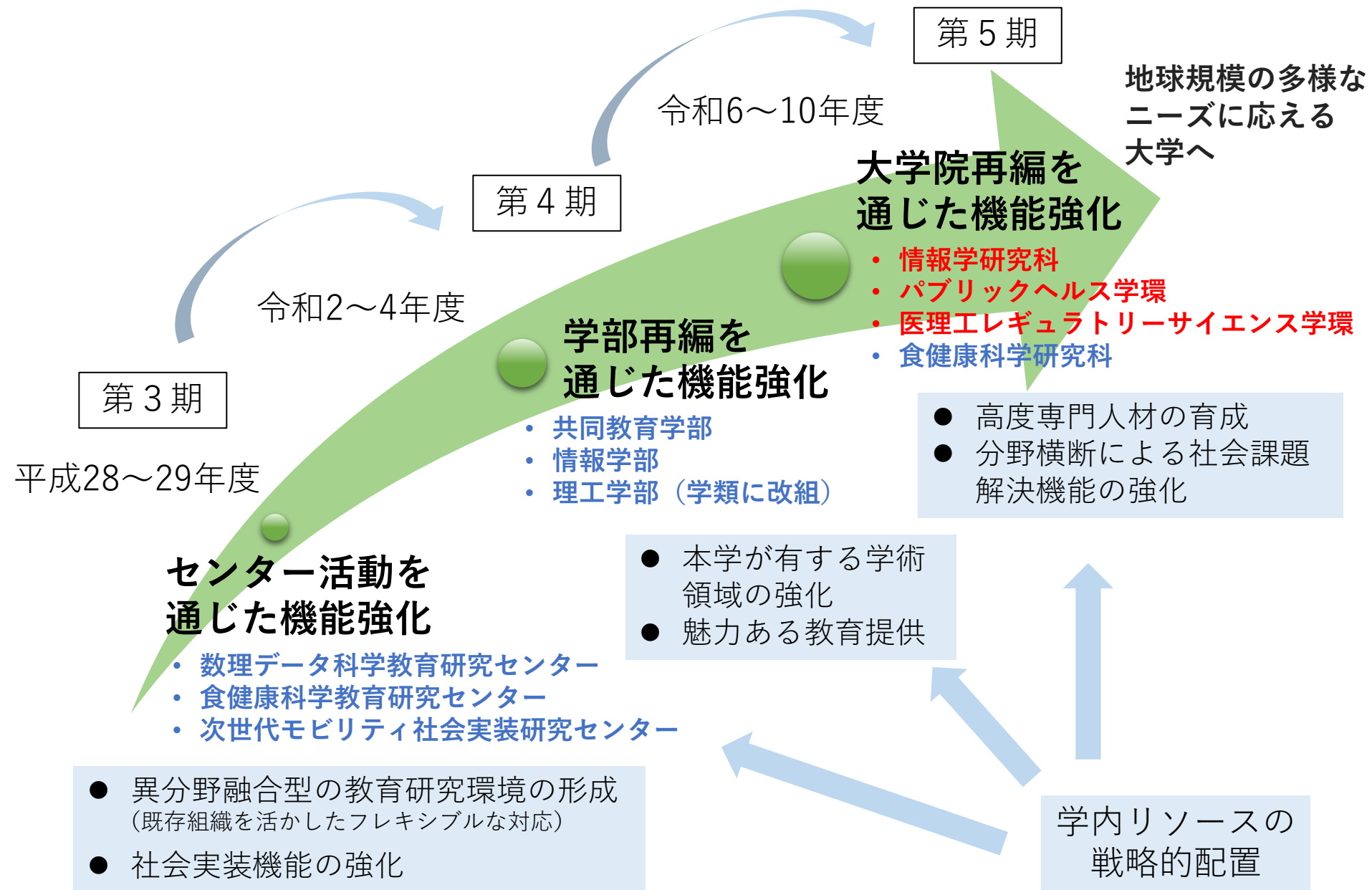
#### 【本件に関するお問合せ先】

群馬大学学務部教務課大学院係

TEL：027-220-7437

E-MAIL：kk-ggakusei4@ml.gunma-u.ac.jp

# 教育研究組織再編の歩み



# 教育研究組織改革年表

| 第 3 期 中期目標・中期計画期間     |               |               |               |              |              | 第 4 期                |              |              |                        |                        |              | 第 5 期         |
|-----------------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|----------------------|--------------|--------------|------------------------|------------------------|--------------|---------------|
| 2016<br>(H28)         | 2017<br>(H29) | 2018<br>(H30) | 2019<br>(H31) | 2020<br>(R2) | 2021<br>(R3) | 2022<br>(R4)         | 2023<br>(R5) | 2024<br>(R6) | 2025<br>(R7)           | 2026<br>(R8)           | 2027<br>(R9) | 2028<br>(R10) |
| 次世代モビリティ社会実装研究センター 設置 |               |               |               |              |              |                      |              |              |                        |                        |              |               |
| 数理データ科学教育研究センター 設置    |               |               |               |              |              |                      |              |              |                        |                        |              |               |
| 食健康科学教育研究センター 設置      |               |               |               |              |              |                      |              |              |                        |                        |              |               |
| 教育学部                  |               |               |               |              |              | 共同教育学部 設置 (宇都宮大学と共同) |              |              |                        |                        |              |               |
| 社会情報学部／情報学部           |               |               |               |              |              | 情報学部 設置              |              |              |                        |                        |              |               |
| 医学部                   | 医療安全講座の設置     |               |               |              |              |                      |              |              |                        |                        |              |               |
| 理工学部                  |               |               |               |              |              | 理工学部 改組・機能強化         |              |              |                        |                        |              |               |
| 教育学研究科                |               |               |               |              |              | 教職大学院改組・拡充           |              |              |                        |                        |              |               |
| 社会情報学研究科／情報学研究科       |               |               |               |              |              |                      |              |              | 情報学研究科 (修士)            | 情報学研究科 (博士)            |              |               |
| 保健学研究科                |               |               |               |              |              |                      |              |              | パブリックヘルス学環 (修士)        | パブリックヘルス学環 (博士)        |              |               |
| 医学系研究科                |               |               |               |              |              |                      |              |              | 医理工レギュラトリーサイエンス学環 (修士) | 医理工レギュラトリーサイエンス学環 (博士) |              |               |
| 理工学府                  |               |               |               |              |              |                      |              |              |                        |                        |              |               |
| 食健康科学研究科              |               |               |               |              |              |                      |              |              | 食健康科学研究科 (修士)          | 食健康科学研究科 (博士)          |              |               |

設置が決定した組織

設置構想中の組織

### 新研究科概要

- 【名称】情報学研究科 Graduate School of Informatics  
情報学専攻 Department of Informatics
- 【学位名称】博士(情報学) Doctor of Philosophy Informatics
- 【概要】令和6年度に設置した情報学研究科修士課程に接続し、人文・社会科学と情報科学の横断的高度専門性及び実践力を身に付ける大学院
- ✓ 先端的な情報学の研究を通じて人間社会全体の調和のとれた発展の先導的・指導的役割を担う人材を育成
  - ✓ 高度先端的な情報学に関する教育や研究の機会を地域に提供
  - ✓ 世界の企業や研究機関などと情報学に関する連携を通して社会全体の発展に貢献
- 【入学定員】 4名 【収容定員】 12名
- 【教育プログラム】 情報学プログラム

### 設置趣旨の概要

高度な情報技術が社会基盤として広く浸透しつつあり、これから情報技術のあり方と社会の様相とは一層不可分な時代を迎えることとなる。そのため情報学においては技術的な側面と社会的な側面の両面にわたる密な取り扱いが必要である。特に先端的な領域においては積極的な融合が新たな学問領域の開拓につながる事が予想されることもあり、技術的な側面と社会的な側面の両面にいつでも必要な時に自由に触れられる環境を整えるとともに、融合的な研究内容でも学位審査が可能な体制の提供が重要である。そこで、博士後期課程では、情報科学と社会情報学を含む領域を情報学として捉え、両者を包含した情報学プログラムとする。

### 養成する人材像と主な就職先

#### 【養成する人材像】

##### ■情報学プログラム

現在の情報技術に深く依存した高度情報社会に対して、その変動の方向性を深く洞察し、これからの社会あり方を情報技術を支える数理科学の原理もしくは社会理念にまで遡って構想し、情報社会の抱える諸問題について情報科学的な視点もしくは人文社会科学的な視点から解決に貢献できる「先端研究者」および「指導的高度専門職業人」を育成する。

#### 【進路・就職先】

大学・研究機関、情報通信業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、電気・情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、自治体、官公庁、金融機関、運輸業、学術研究 専門・技術サービス業、複合サービス業

### 高度情報専門人材の養成体系図



### 養成する人材類型

#### 情報科学プログラム

##### ソフトウェア・セキュリティエンジニア

- ・ デジタル技術を活用した製品やサービスなどを提供するためのシステムやソフトウェアの設計・実装・運用を担う
- ・ 業務やサービスを支えるデジタル環境におけるサイバーセキュリティリスクの影響を抑制する対策を担う

##### データサイエンティスト

- ・ 政策・サービス・ビジネスの実現のためにデータを収集・解析する仕組みの設計・実装・運用を担う
- ・ データを活用した政策・サービス・業務の変革やデータに基づく新規政策・ビジネスやサービスの実現を担う

##### ソーシャルアーキテクト

- ・ データに基づく社会的洞察や状況分析に基づいて社会が目指すべき理念や価値を探索し、組織内で関係者をコーディネートして協働関係の構築をリードする
- ・ 目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を担う

##### デザイナー

- ・ 社会やビジネスからの視点と関係するステークホルダーの視点を総合的にとらえ、政策・製品・サービスなどの方針や開発のプロセスなどを策定
- ・ それらに沿った政策・サービス・ビジネスや製品の在り方のデザインを担う

#### 社会情報学プログラム

リサーチアーキテクト  
高度な専門知識に基づいて先端的な研究・開発及び社会の先導を担う

情報学プログラム  
専門性の高度化





# 群馬大学大学院パブリックヘルス学環（博士前期課程+後期課程）

## 社会から大学院に求められるもの

- ✓ 医療分野の産学連携
- ✓ 基礎から実用化まで一貫した研究開発
- ✓ 研究成果の実用化
- ✓ 総合的な健康・医療関連産業の振興
- ✓ 我が国の医療の国際的対応能力向上
- ✓ 地域固有の医療保健対策

医学系  
研究科

保健学  
研究科

公衆衛生大学院プログラム校連絡会議

教育の質の担保

## 社会健康医学プログラム

- ✓ 公衆衛生学
  - 疫学
  - 医療統計学
  - 社会行動科学
  - 保健政策/医療管理学
  - 産業環境保健学

## パブリックヘルス学環（博士前期課程+後期課程）

- ✓ データサイエンス
- ✓ レギュラトリーサイエンス
- ✓ 英語・コミュニケーションスキル
- ✓ 医学
- ✓ 保健学
- ✓ ゲノム医科学

✓ 特別研究

## 育成する人物像（博士前期課程+後期課程）

本学情報学研究科修士  
課程修了者

ヘルス領域・医療経済  
/医療政策など様々な  
学域の大学院修士課程  
修了者

本学以外の社会健康医  
学系大学院修士課程修  
了者

博士前期課程  
(5名)

2024年4月設置

博士後期課程  
(2名)

2026年4月設置

本学環では、パブリックヘルスの両輪である実践と研究のいずれの分野でも活躍できる卓越した能力を持ち、健康の格差を是正するための組織的な活動に寄与できる人材を育成する。また、生物統計学や疫学などの手法をはじめ、パブリックヘルスの専門家として必要となる知識・技能を修得するとともに、多様な価値観や倫理観が行き交う現場で課題解決力を発揮するためのマネジメント力を有する高度専門家を育成する。

疾病予防・医療・介護等のヘルス分野における専門知識・技術にデータサイエンスの知見を融合させた高度な実務・研究能力を有し、パブリックヘルスの実務・研究・教育における指導的立場に立つ人材を育成する。

## 修了後の進路（博士前期課程+後期課程）

### 研究・教育機関

大学の医学/保健学/公衆衛生学系研究科、臨床研究中核病院における教育・研究職

### 公的/非公的機関

WHO、各種NGO、保健・医療政策・感染症対策・がん対策課、公益財団法人などの研究機関（例：PMDA：医薬品医療機器総合機構）などにおけるマネジメント職

### 国内外の民間企業

製薬会社・ヘルスケア産業・保険会社などにおけるコンサルティング職・マネジメント職

# 群馬大学大学院 医理工レギュラトリーサイエンス学環

研究科等連係課程

【博士後期課程】

2026年(令和8年)4月設置

## 育成する人材像

重粒子線医理工学を一つの軸としたレギュラトリーサイエンスを基盤とし、分野横断的連携により、独創性や創造性に富んだ研究を遂行する能力、確固たる科学的倫理的価値観に基づき協調しながら国際舞台で活躍する能力を育成し、グローバル、さらにユニバーサルに社会に貢献する医理工学にかかわる人材を育成する。

## 世界に通用する重粒子線医理工学分野のリーダー

- ・ 少子高齢化に伴う労働人口の確保、QOL(Quality Of Life)を重視した低侵襲がん治療
- ・ 我が国が世界をリードする数少ない革新的な重粒子線治療の幅広い知識と広い視野を身に着けた国際的リーダー育成
- ・ 世界をリードする重粒子線治療物理工学、重イオンマイクロビーム、医療用コンプトンカメラなど高度医療機器の開発・運用技術の教育研究の強化

放射線腫瘍医学分野・物理工学分野・医学生物学分野・原子力分野・医療機器企業の研究開発・加速器等粒子線機器開発

重粒子線医理工学プログラムでは  
生命医科学から理工学にわたる学問分野を俯瞰的に把握する教育

重粒子線治療・医理工学・医学物理学、放射線生物学、加速器技術・レギュラトリーサイエンスをキーワードに医科学・理工学分野の領域を超えた俯瞰的な教育研究  
(医学系研究科と理工学府の縦割り教育の解消・組織の整理を含む)

## 群馬大学の特徴：

重粒子線医学・物理学・生物学及び  
重粒子線先端臨床高度医療機器・運用技術の研究開発

## プログラムが創る知の源泉

医学物理学・放射線生物学・レギュラトリーサイエンスと宇宙医学  
アルテミス計画など  
人体・電子デバイス部品と粒子線

医学物理学・放射線生物学・レギュラトリーサイエンスとグリーン戦略  
原子力・核融合など  
福島第一原発・大型炉の廃炉・小型原子炉の普及と管理・原子力人材の育成

医理工学・加速器技術の基礎・応用に関する教育研究と新しい加速器技術の開発と応用  
高崎QST・SPRING-8との連携  
レーザー加速による革新的小型加速器  
粒子線治療・老朽化したインフラ設備の評価

## 重粒子線医理工学プログラム

医療機器企業、一般企業、大学・研究機関、医療機関、医学物理士など

### 博士（医理工学）

#### 博士後期課程

定員2名 3年

先端的理工学関連  
授業科目

先端的医学関連  
授業科目

医理工連携共通専門科目  
Qualify Examination

### 修士（医理工学）

#### 博士前期課程

定員5名 2年

2024年4月設置

生物化学、電気電子工学、  
制御工学、情報工学など

医学物理士認定  
コース

解剖学、生理学、  
腫瘍学、核医学など

放射線生物学、重粒子線医理工  
連携特論など

理工学系学部生、生命系学部生、放射線技師など

## 群馬大学が有する知の資産と環境

「医理工生命医科学融合医療イノベーション」で医理工融合研究拠点「国際メディカルイノベーションラボラトリー」 平成26年度文部科学省特別経費事業

少子高齢化・過疎化の進展、QOLを重視した医療など社会課題を解決する医療機器の創出  
(市場規模40兆円(日本の市場規模3兆円))

### 群馬大学レギュラトリーサイエンスプロジェクト

その成果の有効性や安全性を評価し、科学的根拠と社会的見地の両方から判断(意思決定)すること目的とした研究の必要性

### JST次世代研究者挑戦的研究プログラムと連携

グンマ創発的博士人材インダクションプログラムを令和3年度から開始

若手研究者育成(博士後期課程)